

土砂災害を知ろう

いろいろな土砂災害

土砂災害の多くは、地震や大雨が原因で起こります。

1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上の降雨量になったら十分な注意が必要です。

 <p>がけ崩れ 雨や雪解け水、地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちる現象</p>	 <p>土石流 山や川の石や土砂が、大雨などにより、水と一緒に激しく流れ下る現象</p>	 <p>地すべり 雨や雪解け水が地下にしみこみ、断続的に斜面が滑り出す現象</p>
--	--	--

！ こんな前ぶれ現象に注意！

下記のような前ぶれ現象を察知した場合は、土砂災害が発生する可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、役場・消防・警察へ通報してください。

小石がパラパラ落ちてくる



山鳴りがする



斜面にひび割れができる



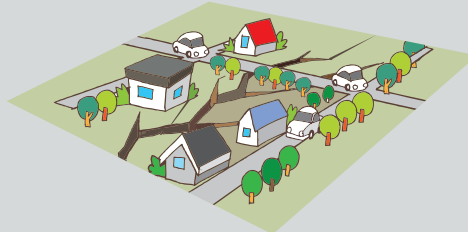
がけの斜面から水が噴き出す



がけから水がわき出る



地面にひび割れができる



川の流れが濁り、流木が混ざり始める



雨が降り続けているのに、水位が下がる








沢や井戸の水が濁る



雨に注意しよう

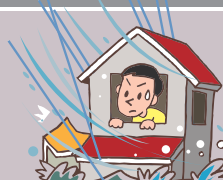


雨の強さと降り方

雨量や雨の強さを表す用語が、どの程度の雨の降り方を表しているのを知っておきましょう。

1時間雨量	10～20mm	20～30mm	30～50mm	50～80mm	80mm以上
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
降り方のイメージ	ザーザーと降る雨 	どしゃ降りの雨 	バケツをひっくり返したような雨 	滝のように降る雨 	息苦しくなるような圧迫感がある雨 
災害の発生状況	この程度の雨でも長く続くときは注意が必要。	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる。	下水管から雨水があふれる。また、がけ崩れ、地すべりが起きやすい。	マンホールから水が噴出する。また、土石流が起こりやすい。	大規模な災害が発生するおそれが高く、厳重な警戒が必要。

気象庁が発表する情報

気象庁は災害が発生するおそれがあると予想したときは、警報や注意報を発表して災害に対する警戒や注意を呼びかけます。

	気象庁が発表する情報	住民の行動
激しい大雨が 続くと...	<p>〈土砂災害発生のおそれに関する情報〉</p> <p>大雨特別警報（土砂災害） 数十年に一度の重大な災害が発生すると予想される場合に発表されます。最大限の警戒が必要です。</p>	<p>直ちに身を守る 行動をとる</p> <p>すでに災害が発生又は切迫している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。</p> 
大雨が 降り続くと...	<p>土砂災害警戒情報 大雨警報（土砂災害）が発表されている中で土砂災害発生危険度がさらに高まった時に発表されます。</p> <p>大雨警報（土砂災害） 大雨によって重大な災害が起こるおそれのある時に発表されます。雨がやんでも重大な土砂災害などのおそれがある時は、発表を継続します。</p>	<p>避難情報に 注意</p> <p>速やかに危険な場所から避難場所へ避難しましょう。避難場所までの移動がかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。</p> 
雨が強く なると...	<p>大雨注意報 大雨によって災害が起こるおそれのある時に発表されます。</p>	<p>災害に備え 早めの準備</p> <p>避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。</p> 
数日前から...	<p>「気象庁では、大雨に関する（気象）情報を出して警戒を呼びかけています」</p>	<p>気象情報に 注意</p> <p>テレビ・ラジオ・インターネット等で最新の防災気象情報を確認し、災害への心構えを高めてください。</p> 